

## ■連載 コメディカルを紹介しす[2]

このコーナーでは本院の医療スタッフの役割を順次、紹介します。

### 歯科衛生士

歯科衛生士は女性17名で組織され、このように淡い黄色の診療着を着ています。勤務の場所は、北棟4階5階の歯科診療室です。近年、誤えん性肺炎と口腔内の環境の密接な関係が立証され、また、歯周病が全身疾患にも深く関わっていることも明らかになっています。歯科診療室だけでなく、病棟でも口腔ケア業務を行っています。

歯周病やむし歯予防は口腔ケアが基本で、セルフケア（自己管理）とプロフェッショナルケア（歯科医師、歯科衛生士）の二つに大別できます。この二つのケアがそろって口腔内の健康が維持できます。

歯科衛生士は、患者さんのご自身の歯で、また義歯やインプラントを入れている口腔内で、一生好きなものをおいしく食べられるように口腔内の健康維持のサポートをしています。歯科を受診の際は、気軽にお問い合わせください。



- 休日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29-1/3)
- 初診受付時間 8:30-11:00(窓口)
- 再診受付時間 8:15-17:00(自動再来受付機)、8:20-17:00(窓口)
- 外来玄関開閉時間 7:30-18:00

## ■外来診療日一覧

### ■外来診療棟

階	診療科名	初診日	再診日
4階/西	心療内科 TEL 642-5335	月・木	火・水・金
	呼吸器科 TEL 642-5388	月・水・金	月・火・水・金
	■外科 ◎消化管外科(1)◎胆道・膵臓・脾臓移植・腎臓移植外科 ◎呼吸器外科(1)◎乳癌外科(1) ◎内分泌外科 TEL 642-5453	火・木	火・木
	■外科 ◎消化管外科(2)◎肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科 ◎呼吸器外科(2)◎乳癌外科(2) ◎血管外科 TEL 642-5479	月・水・金	月・水・金
4階/東	産科婦人科 TEL 642-5409	月・金	月・金
4階/東2	ペインクリニック(麻酔科併設) TEL 642-5719	月・水・金	月・金
4階/東2	再生歯科・インプラントセンター TEL 642-6361	月・金	月・金
3階/西	■内科 ◎血液・腫瘍内科 ◎免疫・膠原病・感染症内科 ◎消化器内科◎腎・高血圧・脳血管内科◎内分泌代謝・糖尿病内科◎肝臓・膵臓・胆道内科 TEL 642-5302	月・金	月・金
	◎先端分子・細胞治療科 TEL 642-5302	月・金	月・金
3階/東	■ハートセンター外来 ①循環器内科②血液・腫瘍内科 TEL 642-5371	①月・木 ②火・金	①月・水 ②火・金
	③心臓血管外科 TEL 642-5565	③月・水・木	③水・木
	皮膚科 TEL 642-5597	月・水・金	火・木
3階/東	耳鼻咽喉・頭頸部外科 TEL 642-5681	火・木	月・水・金

※赤色の曜日は予約が必要です。 ※電話予約受付時間14:00-16:00 予約に関するお問い合わせは、各診療科外来へ直接お電話ください(市外局番は「092」です)。  
※再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となり、紹介状をお持ちでない方は治療費とは別に別院外併用療養費として3,150円が必要となることがあります。あらかじめ受診科「外来」にお確かめ願います。

### 外来患者さんへ

- ◎本院のお業は原則として「院外処方」として行っています。「院外処方せん発行」にご協力ください。
- ◎外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので、できるだけ公共交通機関をご利用いただきますようご協力願います。

### ■本院の理念

患者さんに満足され、病院内も満足する医療の提供ができる医療を目指します。

### ■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

- ①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ②プライマリ・ケア診療の充実
- ③全人的医療が可能な医療人の養成
- ④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ⑤国際化の推進



九州大学病院  
TEL 092-641-1151【代表】 092-642-5163【問診受付】  
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号  
〈ホームページ〉 <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>

携帯電話からも九州大学病院ホームページの診療案内・診療日案内・交通案内が閲覧できます。

九州大学病院 広報委員会発行

# 九大病院だより

Public Relations Magazine of Kyushu University Hospital 2011.5



## 九州大学病院別府病院がいよいよ発進

このたび4月1日より九州大学病院別府先進医療センターから九州大学病院別府病院へと病院の名称を変更いたしました。今まで別府病院は温泉治療学研究所、生体防御医学研究所の附属施設でしたが、組織変更にもとない九州大学病院の一部となりました。今まで同様に継続して地域医療に貢献し、皆さまの健康増進に努めたいと思います。

診療内容は従来の内科・外科・放射線科に加えて、このたび整形外科を開院いたしました。整形外科では主に脊椎疾患の診療をおこない、患者さんには手術からリハビリテーションまで一貫した治療が受けられる体制を整備しました。また、最新鋭の放射線治療装置(リニアック)ならびに診断機器(CT、MRI、アンギオ装置)も導入しています。別府



九州大学病院別府病院

病院では恵まれた環境を活かし、患者さんに満足していただけるよう、質の高い医療を提供するために、職員一同さらなる努力をまいります。

患者さんの健康の増進と生活の質の向上にむけて、より一層地域医療に貢献してゆく所存であります。今後ともご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。



内科の得意分野は、リウマチ性疾患・膠原病、循環器病・神経疾患など

なお、九州大学病院別府病院は日本医療機能評価機構の認定基準達成の評価を受けています。



最新鋭のリニアックによる放射線治療

お問い合わせ ◎九州大学病院別府病院 TEL 0977-27-1600(代表)

### エッセイ



### 留学生活で得た新たな趣味

消化器内科/腎・高血圧・脳血管内科 科長

きたの たか なる  
北園 孝成  
Takanari Kitazono

仕事に追われる日常のなかで、休日には時折お菓子を作ることがあります。元来、私は台所に立つ習慣は無かったのですが、きっかけとなったのはアメリカのアイオワ大学への留学でした。

私たちが家族が住んでいたアイオワシティは、古き良きアメ

リカを体感できる中西部の美しい田舎町でしたが、それ故に、日本の食品がほとんど手に入らず、日本の繊細な味が恋しくなり、必要に迫られて、自分たちでお菓子を作るようになった訳です。お菓子作りには力仕事の部分もかなりあり、マドレーヌの生地を艶が出るまで混ぜる過程などは私の得意とするところでした。

お菓子を作るうえで最も大切なことは、材料を正確に計量し、的確に攪拌(かくはん)、加熱をすることであり、それは実際と全く同じ感覚です。手作りのものは子供にも安心して食べさせることができますし、一緒に作業をすることで家族の会話も増えました。

留学は、研究の土台となる貴重な経験や多くの友人、そしてお菓子作りという新たな趣味を私に与えてくれた楽しい時間でした。



## ▶▶▶ 診療科のご案内 ①

## 歯内治療科

歯内治療科は、むし歯（う蝕）になった歯の治療、痛む歯の治療、歯の神経（歯髄）や歯の根（根管）の治療・変色歯の治療などを行っています。「なるべく歯を削らない」「なるべく神経（歯髄）を取らない」「なるべく歯を抜かない」、これが歯内治療科の治療原則です。

歯の根の治療（根管治療）を何回行っても、腫れや痛みが治らないことはありませんか？当科では、このような歯に対しては、歯科用実体顕微鏡や歯のCT（コンピュータCT）撮影、また接着性レジン（歯にくっつく樹脂）などの新しく開発された材料を併用して根管治療を行い、多くの、治り難い歯を抜かずに治癒させることに成功しています。また変色した歯には、漂白剤を使用したホワイトニング治療を行い、歯を削らず、神経を取らずに白い歯にすることも可能です。

ご興味のある方は、ご遠慮なくご相談ください。  
(TEL: 092-642-6430 要予約)



歯科用実体顕微鏡を用いた根管治療

## ▶▶▶ 診療科のご案内 ②

## 肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科

当科では、肝臓・胆道・脾臓疾患を総合的に診療しています。

肝切除総数は昭和60年以来1,000例を超え、全国的にも極めて高い評価を得ています。肝がんに対しては、腹腔鏡下を含む肝切除、焼灼療法（RFAまたはMCT）、

肝動脈化学塞栓療法、肝移植とそれぞれの肝機能や疾患の状態に応じて適切な治療を選択しています。

食道・胃静脈瘤に対する胃カメラを用いた内視鏡的治療法は、2,500例以上とわが国最高の症例数です。内視鏡下外科手術でも、平成4年に世界初の腹腔鏡下脾臓摘出術を行い、脾臓腫大による血小板減少に対する同手術は、350例以上とわが国最高の症例数です。

肝移植は平成8年から、平成23年3月までに390例の生体肝移植、3例の脳死下肝移植を行いました。全国3位の症例数で、成績も非常に良好です。

胆道がん/膵がんに対しては、動脈/門脈合併切除・再建を積極的に行っています。また、手術治療が不可能と判断した症例に対しても、新規抗がん剤治療であるGFP療法（ジェムザール+5-FU+CDDP）による化学療法や放射線療法を行っています。

つねに、患者さんとご家族を第一に考えた医療を目指しています。



## ■子宮頸がん —ワクチンと検診で防ぐ—

1950年代から、子宮頸がんの早期発見を目指して全国で子宮頸がん検診が実施され、進行がんの患者さんの数は減少しました。しかし最近では、若年女性における子宮頸がんの発生が、むしろ増加する傾向にあります。

子宮頸がんはそのほとんどがヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が原因で発生し、HPVには現在までに100種類以上のタイプが知られています。なかでもHPV16型、18型の2タイプによるがん発症の頻度が最も高く、二つを合わせると子宮頸がん全体の60-70パーセントの原因となっています。HPVは性的な接触により感染するものの、ほとんどは1年以内に自然に消失します。しかし一部の女性でHPVが持続的な

感染状態となり、その中から子宮頸がんが発生すると考えられています。

女性のほとんどが一生涯一度はHPVに感染するため、感染する以前にワクチン接種を行ってHPV感染を予防することで、子宮頸がんの発生を阻止できると考えられます。HPV16型、18型の二つをターゲットにしたワクチン使用はすでに可能です。

しかし、重要な点は、現行のHPVワクチンではすべてのタイプのHPV感染、すべての子宮頸がんの発症を予防できるわけではなく、HPVワクチンを接種した女性もこれまでと同様に定期的に子宮頸がん検診を受ける必要があるということです。

## 家庭でできる口腔管理

インプラントを  
長く快適に使っていただくために

再生歯科・インプラントセンター 石川 育美

近年、むし歯や歯周病で歯を失った場合に、インプラント治療を選択するケースが増えています。インプラントは、かむ機能・審美的な回復の点においてはメリットの多い治療です。しかし、インプラントがはいて、かめるようになると安心してしまいがちですが、インプラントを長持ちさせるためには、実はインプラントを入れた後のケアが天然歯以上に重要です。インプラントはむし歯にはなりませんが、歯磨きを怠るとインプラント周囲炎と言われる歯周病と同様の状態になり、最悪の場合はインプラントの撤去に至ることもあります。

できるだけそのようなリスクを減らすためにも、歯科で適切な歯磨き指導を受け、ぜひ家庭でも実践していきましょう。インプラント専用の歯ブラシの使用や歯間ブラシの併用をお勧めする場合があります。

また、喫煙の習慣は感染のリスクを高める原因にもなりますので、減煙や禁煙をお勧めします。



インプラント清掃不良の状態(左)と、インプラント用清掃器具(下)



女性内性器および子宮頸部のがん病巣

九州大学病院別府病院の  
ご紹介九州大学病院別府病院に  
整形外科(脊椎外科)  
を新設!!

平成23年4月から別府先進医療センターが「九州大学病院別府病院」に病院名を変更したことを機に、「せぼねの病氣(脊椎外科)」を専門とする整形外科が開設されました。九州大学病院本院で脊椎脊髄外科診療に携わってきた私(土井)をはじめ、整形外科医3名が専門的な診療を行います。

“脊椎外科”はその技術の進歩が著しく、より専門的な診断技術・治療技術を必要とします。例えば坐骨神経痛の原因(腰部脊柱管狭小症や腰椎椎間板ヘルニア)に対する内視鏡手術・顕微鏡手術や、脊柱側弯症に対する脊髄モニタリング下での矯正固定術、圧迫骨折に対するセメントを用いた後弯形成術などがその例です。

湯の街別府の地の利を活かしての温泉療法・リハビリテーションにこれら最新治療を加えて、大分・別府地区での脊椎脊髄病治療の発展の一助となるよう努めて参ります。



九州大学病院別府病院全景